



店内には生花のほかにもドライフラワーやリースなどもたくさん置かれている。おしゃれにディスプレイされているのでインテリアの参考にも

趣味で木工をしたり、パッチワークやカントリドールを作ったりしてました。ドライフラワーも、お店のディスプレイ用に作って、それからリースやブーケも作るようになったのですが、見よう見まねだけでは難しいところもあって、市川にある教室に通って、作り方を勉強して、だんだんといろいろなものを作れるようになりました」

最初はお店のディスプレイ用として作っていたドライフラワーのブーケやリースですが、長女の怜奈さんがマルシェでアクセサリーを販売していたことから、幸恵さんのブーケやリースも一緒に置くようになったそうです。

「長女に『ママのもし置こうか?』と声を掛けられて、最初は委託のような感じで売ってもらってました。そこで自分の作った物が売れた事がすごくうれしくて。それから、私と長女でとねマルシェに出ようかという事になったのが、イベントに出店し始めたきっかけです」

### 名前に込められた想い

イベントに出店する時は「旬花 yaguchi」という名前を使用している幸恵さん。

「イベントに出る時の名前を考えていた時に、主人が昔、お店の名前を『旬花』っていう名前にするのも良いなって言っていたのを思い出して。イベントの時にはその季節ごとに旬の花を持って行くので、ぴったりだと思って、この名前にしました。そしてそこに矢口商店の『yaguchi』を付け加えました」

### センスが光る作品とディスプレイ

幸恵さんが製作する商品は、どれもインテリアとして置きたくなるようなものばかり。カラフルでボリュームのあるパンパスグラスも、数年前から人気のある商品だそうです。販売されているパンパスグラスの中には、幸恵さんが自分で染料を調合して色を作って染めたオリジナルのものもあります。

「夏に旬のパンパスグラスを仕入れて、専用の染料で色を作り、1日かけて色を



染めパンパスグラスは、幸恵さんが染料を配合して色を作って染めたものと、色付きのものを仕入れたものとがあり、色のパリエーションが豊富



吸わせ、洗い、乾かします。完全に乾いて完成するまでは1週間から10日間程かかります。最近は男性の方で購入してくれる方も結構多いですね。龍ヶ崎のイベントに来てくれた男性の方は、結婚して建てたばかりのお家に飾りたいからと、パンパスグラスを買って行ってくださいました。その後のイベントでも奥さんと来てくれたりして、お子さんが生まれて1年の時にはお花を飾りたいからと、お店にも来てくれました」

イベントでの出会いをきっかけに、お店に足を運ぶようになるお客さんも多くいるようです。

### イベントへの出店とSNSが繋げる新たな出会い

現在では町内のマルシェだけでなく、町外や県外への出店依頼にもできる限り応じている幸恵さん。稲毛海浜公園や、笠間工芸の丘でのイベントも、主催者からの直接の依頼で出店につながったそうです。

また、つくば駅直結の商業施設トリエつくばスクエアでのポップアップショップの出店も、他のイベントの際に声が掛かり、「手のひらのクリスマス」というテーマで、2週間の出店を行ったそうです。

「自分のお店にただでは、そういう機会はなかなかないんですけど、イベントに出店して、そこでまた別のイベントの声が掛かる事がよくあります」  
また、長女の怜奈さんのアドバイスで始めたインスタグラムの反響も大きいといえます。最初はインスタグラムの機能を教わりながら使っていたそうですが、今では撮影からすべて一人で行い、より多くの方に届くように工夫をしながら投稿しているそうです。

「自分で作ったお正月飾りの写真を投稿したら、名古屋の方から問い合わせのメッセージが届いて、商品を発送した事もありました。長女からのアドバイスで、ハッシュタグの付け方を工夫するようになった事も、効果的に発信できるようになった理由かなと思います」

町民の生活に寄り添いながら、町の変化を見つめ続けてきた矢口商店。人との出会いを大切にしてきた事が、今も多くのの人に愛される理由のようです。インテリアのワンポイントに、お気に入りのお花を探しに足を運んでみてはいかがでしょうか。



お正月用のスワッグは、しめ縄と水引きを外すと通常のスワッグに



利根町文化センターでのワークショップで講師を務めることも



イベントのディスプレイは季節によって旬の花を中心にしたものを揃えている。主催者からの依頼で会場入口に置くドライフラワーのアレンジも担当

### Instagram @yc\_agd501

イベントやワークショップ、旬のアレンジメントなどの情報満載の旬花～yaguchi～のInstagram。県外からの問い合わせや注文をする人もいます。

### イベントならではの苦労も

「外でのイベントが多いので、天候に大きく左右されるのが大変ですね。準備からお店番と撤収まで一人で行うので、強風の時や雨が降った時、また夏の暑い時期は大変です」

暑い時期は充電式の扇風機をテントに付けるなどして出店しているそうですが、猛暑の中のイベント後、体調を崩してしまったこともあるそう。

また、別の仕事をしていた時は、休日は完全に休んでいたそうですが、今はイベントの出店予定があると、休日でも作業することがあるといいます。

お彼岸やお盆などの繁忙期などは家族にも手伝ってもらいながら乗り切っているそうです。

### 今後の展望

「自分で楽しみながらやれるうちは、いろんな場所に行って、人脈をさらに広げていきたいなと思っています。この商店街も、お店を続けていく方がだんだん少なくなってしまうんですけど、商店街全体でマルシェができたらしたら、地域が盛り上がりつつ楽しそうだなって思ったりします。それには私一人では無理なので、例えば、商店街や町やとねマルシェ、いろんなところが協力し合って、商店街を盛り上げられたらいいなと思います」



### 矢口商店 / 旬花～yaguchi～

利根町布川 3084  
8:30～19:00  
定休日：木曜日  
instagram ▶ @yc\_agd501

